



オ1図 アメリカ、ウツヅホール海洋研究所所属調査船
アトランティスⅡ世号

9月22日2中立
浮標を犬吠崎沖大陸
斜面の1,000m深、
800m深に入れて
追跡測流したが、強
い勾配がこれらの深
度に存在していたと
ころ、1,000m層
のフロートはSWへ
16cm/secで漂流
800m層のフロー
トはも少し沖の方で
同方向に11cm/sec
で漂流した。どうも
岸寄りの方にかなり
深層の流れが黒潮と
逆の方向に流れてい
るようで、米国東岸
のCape Hatteras
Cape Romain
で測つた結果と類似
のようである。この
流れの塩分は黒潮の

とはちがつて、同温でも低鹹を示す。深層のボテンシャル温度と塩分の関係が上記2断面では
つきり分れておることは豆南大海嶺による隔離のためとみられる。潮岬沖のオ1断面は8°C等温
線の下方の略全水温でより高鹹を示す。水温躍層中の溶在酸素の値はオ2断面よりオ1断面の方
が高かつた。黒潮は明かにある程度不連続で、この豆南海嶺のどちらかの側の各層に異なる水の
運ばれて来るものと思われる。以上 L. V. Worthington 報告による。

(宇田 道隆)

2 水中テレビでタラバガニ漁場調査

米国水産庁調査船 M. V. Paragon 号の1964年アラスカ漁場調査航海で水中テレビを
使つてタラバガニ群の所在を発見できることを証明した。Oceanographic Engineering
Corporation 会社開発のカメラをトロールのワイヤから吊り下げた。海底を見るのに最
も効果的な深さに装置をさげている間船は流していた。色々なタイプの海底について7~120m
の深さで観測した。この探索中タラバガニおよび他の食用種族の相当な数量が船上のTV監察で

眺められた。ある一箇所では50尾以上のカニが見られた。又他の場所で全く見られない所もあつたが、これも重要である。トラップ（カニかご乃至定置網）を置くべきでない場所がわかることは漁業上価値多いと考えられるからである。

（宇田道隆）

3 アフリカの水産資源

出所： W. C. Chapman: Ocean Science and Human Protein Malnutrition Problems in Middle Africa. Conf. on Ecology and Economic Development in Africa. U. Calif. 1964

西アフリカのガーナで「赤頭の子」(Kwashiorkor)といふのは蛋白質栄養病児で、世界に少なくも5億の人が蛋白質欠乏に悩み、そのうち5分の4は学令前の幼児で、残りは大かた妊婦と授乳母性（FAO 1961年報告）といふ。一方魚蛋白はアミノ酸、カルシウム、磷を大量に含みビタミン等も豊富で、この蛋白欠乏は水産物を通して救われよう。人類大衆に現在及び将来の食の必要を充たすに足る魚の資源はあるか、その資源を手に入れる方針は如何かが問題になる。

1) アフリカの魚類生産

(FAO 1961年推計)は、1938年52万トン、1948年83万トン、1958年198万トン、1961年247万トンと激増し、年平均増加率6%位、10年間に倍増の勢いである。1961年推計の20%位は内水面からの生産で、海洋漁業についてはアフリカ全生産の90～95%は西岸からで、東岸インド洋側と地中海側の生産は5～10%程度である。

熱帯アフリカで1960年生産100万トンのうち、大西洋側の西岸沖の海洋漁業が50万トン、インド洋側の東岸沖海洋漁業は2万トン以下、湖沼、河川等の内水面漁業生産は約50万トンである。生残率から、西岸の方は西岸海洋漁業に対して生産力は大きいが東岸のそれは小さい。そして内水面で大である。

中部アフリカ淡水漁業は広大で著しく生産的である。FAOは1961年世界淡水漁業439万トンのうち中部アフリカのそれを50万トンと推算(すなわち10%以上)。中共で200万トンといわれる。

米国水産庁のL. Walfordが1948年Angolaを視察、キワダマグロ、カツオ、漁が有望と報告した。1954年米国Van Camp Sea Food会社が専門家調査団を送つてアンゴラの方面まで鮪漁の可能性を調べた。1955年冬バスク、ブリトン方面(フランス、スペイン)ピンナガ小漁船隊がビスケイ湾不漁のためキワダマグロ、カツオ漁のためダカールの方まで南下し始め、その後1964年まで年々盛んに南下し始め、その後1964年まで年々盛んに漁場を拡げ、両国合計100隻以上が西アフリカで従漁するようになつた。

1956年には日本も西アフリカ沖の熱帯大西洋でマグロ漁場開拓をはじめたが、急速に大漁業に拡大され、1964年には大型近代的鮪漁船120隻位が10万トン以上の漁獲を大西洋